

更新車両（救急1号車）

1 更新車両の概要（現行車両との比較）

項 目	更新車両（予定）	現行車両
車 名	C-CABIN（トヨタ車）	日産パラメディック
導 入 年 度	令和8年度（2026年度）	平成30年度（2018年度）
全 長	5,625 mm	5,330 mm
全 幅	1,945 mm	1,880 mm
全 高	2,510 mm	2,490 mm
車 両 総 重 量	3,285 kg	3,235 kg
燃 料 の 種 類	レギュラーガソリン	レギュラーガソリン
乗 車 定 員	7人	7人
自動車の種類別	普通	普通
総 排 気 量	2,693 cc	2,480 cc
参 考 写 真	  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">電動ストレッチャー</div>	 
仕 様	災害対応特殊救急自動車	災害対応特殊救急自動車

【裏面あり】

●更新車両については、「緊急消防援助隊設備整備費補助金（補助率基準額の1/2）及び「神奈川県市町村地域防災力強化事業費補助金」（基準額の1/2）対象車。

2 更新車両の仕様選定理由

（1）災害対応特殊救急自動車

●本車両は緊急消防援助隊登録車両となっており、大規模災害対応に合った4輪駆動車とした。

●救急件数の増加、女性活躍推進、隊員の高齢化による身体的負担の軽減、安定したストレッチャー操作による患者の安全管理や安心感などに対して電動ストレッチャーを導入した。

（2）資機材の見直し・充実

●積載する医療資器材に持ち運び可能な除細動機能の付いた解析付き12誘導心電計を積載することにより現場で心臓疾患を特定し早期医療機関への搬送が期待できる。

●感染防止対策の強化を充実させるため、呼吸管理資器材のディスプレイ化（使い捨て）を実施。消毒時間や消毒方法、交換作業を最小限にし、救急不応需時間を短縮させ更なる町民サービスの向上を図る。

●積載する資器材の見直しを図り、使用頻度が少なく、代用可能な資器材は積載を見送り、機器の性能についても救急活動対応可能な安価な機器へ変更し、救急活動の質を落とすことなく予算計上額の削減を図っている。